



風土の技を体感

津軽三味線、響の景



焼き締め^クの逸品、津軽金山焼

その昔、「須恵器」の一大生産地であった梵珠山。そこを「津軽金山焼」の本拠地としたのは、この地を再び陶芸の里として蘇らせたいという思いによるものです。

金山の大溜池の底に堆積していた良質の粘土を用いたこの陶器は、梵珠山麓の傾斜面に焼成室を連ね、下方の房から上方へ渡る余熱を利用して「登り窯」内で11昼夜を掛けて焼き上げられます。釉薬を一切使わず、高温で時間を掛けて焼き硬める「焼き締め」という手法で、自然で深みある風合いを引き出します。最近では、酸素を送らずに焼成するグレー色の須恵器作品や、稲わらや林檎の木の灰を釉薬としたコラボレーション作品なども製作しています。



- 営業時間 / 10:00~15:00
- 料金 / 手ろくろ使用: 大人1,550円(税込)
電動ろくろ使用: 大人5,500円(税込)
- ※出張教室: 料金+出張料
- 所要時間 / 30分~90分
- 定休日 / 不定休(要予約)
- 問 / ☎080-8488-2485 ● 地図 / P16:F-3

金山焼陶芸教室「ちゅうばち」

金山大溜池のほとりにある「工房ちゅうばち」では、手ぶらで気軽に金山焼の作品づくりを体験できます(通常は予約制)。手びねりと電動ろくろのコースがあり、個人、団体、出張教室もあります。講師がわかりやすく丁寧な指導＆フォローしてくれるので、年齢を問わず、初心者でも安心して体験できます。



津軽三味線発祥の地、奥津軽の音色を楽しむ

三味線は、16世紀後半に日本に伝えられた楽器。日本では、江戸時代に歌舞伎の伴奏に用いられるなど急速に普及しました。太棹、中棹、細棹の3種類があり、津軽三味線は大きな音が出る太棹が主流で、一般的に胴も大きく絃も太めのものが使われます。

明治から昭和初期にかけての津軽地方では盲目の芸人たちは「ボサマ」と呼ばれ、家々を回りながら玄関先で津軽三味線などを演奏する「門付け」で生計を立てていました。彼ら芸人にとって、津軽三味線はまさに生きていくための芸の道具であり、生きる術そのものでした。



● 白川軍八郎(1909~1962)
仁太坊の最後の弟子。9歳で弟子入りし、わずか3年で師匠を凌ぐ腕になったと言われています。仁太坊の「叩き三味線」に対し、「弾き」を得意としました。自然界の音を三弦に昇華させ、津軽三味線の神様と呼ばれ、木田林松栄や福士政勝といった名手にも多大な影響を与えました。



● 嘉瀬の桃(1886~1931)
「嘉瀬の桃」と黒川桃太郎は、仁太坊の芸に魅せられ24歳のとき弟子入りしました。唄会の人気者で、中でも「調子変わりのよされ節」は桃の独擅だったといわれます。今日唄われる津軽の三つ物、よされ節・小原節・じよんから節の型を作ったことから、津軽民謡中興の祖と言われています。



● 仁太坊(1857~1928)
津軽三味線の元祖「仁太坊」こと秋元仁太郎は、安政4年7月7日に生まれました。8歳の時、痘瘡がもとで失明。12~3歳の頃、上方から流れてきた女三味線弾きから手ほどきを受けたと伝えられています。「俺は乞食ではない、芸人だ。」というのが口癖でした。



そんな厳しい風土から生まれた津軽三味線の元祖とされるのが、神原の「仁太坊」こと本名、秋元仁太郎(安政4年~昭和3年)。仁太坊は旧金木町の出身で、苦難の末、生きるための芸として、叩き奏法や、八人芸を造り出しました。やがて、仁太坊門下の「嘉瀬の桃」や名手「白川軍八郎」などによって津軽三味線の基礎が築かれ、広く伝えられていきました。

「仁太坊まつり」は津軽三味線の元祖「仁太坊」の功績を讃えるため、平成6年より開催されています。このイベントは、これまで津軽三味線全日本金木大会(開催未定)入賞者による「津軽三味線エキシビション」をメインに開催されており、熱い演奏が繰り広げられます。



うちわ作り体験(500円)
※所要時間 / 30~45分

かなぎ元氣村「かだるべえ」

太宰治の生家・津島家にゆかりのある傍鳥家の古民家で「田舎暮らし」体験や、ひばのかななくずを利用したひばリース作り、スイーツ作りなど、田舎の温もりを体感するメニューが豊富です。お食事や宿泊もできます。

立佞武多の館で製作体験

立佞武多は、通常は一年を通して製作しており、製作の様子の見学や、津軽の民芸品「金魚ねぶた」の絵付け体験や、実際に立佞武多に使用された紙を再利用しての「ねぶたライト」や「うちわ」などの製作体験もできます。



津軽三味線会館

現在、豪快華麗な津軽三味線の音楽は、全国の愛好者・ファンを魅了しています。「津軽三味線会館」は、津軽三味線の発祥とそのルーツを広く知ってもらうための施設です。

展示室では津軽三味線の歴史資料を幅広く展示するほか、津軽民謡、各国の弦楽器、津軽三味線の音色を楽しむコーナーなど、多様な展示内容となっています。また、1日5回、津軽三味線の生演奏を聴くこともでき、事前予約でプロから津軽三味線の体験指導を受けられます。



- 津軽金山焼**
- 時間 / 9:00~17:00
 - 交通 / JR五所川原駅より車約15分
 - 問 / ☎0173-29-3350
 - 地図 / P16:F-3

- かなぎ元氣村「かだるべえ」で田舎体験**
- 期間 / 通年
 - 時間 / 10:00~16:00
 - 休館 / 不定休(要問合せ)
 - 料金 / 要問合せ(メニューにより異なります)
 - 交通 / 津軽鉄道金木駅より車約12分
 - 問 / かなぎ元氣村「かだるべえ」☎0173-52-2882
 - 地図 / P18:E-1

- 立佞武多の館で製作体験**
- 期間 / 通年(要問合せ)
 - 所要時間 / 45分~90分
 - 体験料 / 500円~(メニューにより異なります)
 - 交通 / JR五所川原駅より徒歩約5分
 - 問 / ☎0173-38-3232 ● 地図 / P17:C-2



金魚ねぶた作り体験(1,200円)
※所要時間 / 60~90分



津軽三味線之碑



三味線発祥の地の碑

- 津軽三味線全日本金木大会および仁太坊まつり**
- 期日 / 9月上旬
 - 場所 / 津軽三味線会館
 - 交通 / 津軽鉄道金木駅より徒歩約7分
 - 問 / 津軽三味線会館 ☎0173-54-1616
 - 地図 / P18:F-3

- 津軽三味線会館**
- 期間 / 4月~11月 ● 時間 / 9:00~16:00
 - 料金 / 入館一般600円、高大400円、小中250円、音出し体験有り※要問合せ
 - 演奏時間 / 1日5回各20分 ● 休 / 12月~3月
 - 交通 / 津軽鉄道金木駅より徒歩約7分
 - 問 / 津軽三味線会館 ☎0173-54-1616
 - 地図 / P18:F-3